

6

【集めた材料を整理したカード】 第一中学校の生徒会役員の大野さんは、ボランティア活動をテーマにスピーチをします。次は、そのスピーチのために取材し、

【集めた材料を整理したカード】

- ① 詩人の相田^{あいだ}みつをさんの言葉（私が好きな言葉）
 「ともかく具体的に動いてごらん 具体的に動けば
 具体的な^{こたえ}答が出るから」
 （相田みつを『にんげんだもの』による。）
- ② 友達のボランティア活動に対する意識
- ・ 部活動や宿題で忙しいし，何をしたらよいかよく分からない。
 - ・ ボランティア活動には興味があるが，機会が見付からない。
- ③ 周りの大人の見解
- ・ 探してみれば，中学生が参加できるものはある。先生に聞いたり，インターネットで調べたりしてはどうか。
 - ・ 中学生が積極的にボランティア活動に参加するのはよいことだ。
- ④ 中学生のボランティア活動の事例
- 吹奏楽部や合唱部が地元の商店街などで開催されるチャリティーコンサートに参加して，募金活動を積極的に行っている学校がある。
 （文部科学省『平成22年度 文部科学白書』による。）
- ⑤ 私が行ったこと，思ったこと
- ・ 第一中学校では何ができるのかを考えるために，生徒会主催で有志による会議を開いた。先生にもアドバイスをいただいた。
 - ・ 地域の福祉施設で何かお手伝いできることはないか，生徒会役員が連絡をとることになった。
 - ・ 小さな一歩だけれど，これを機に具体的に行動に移すことができればうれしい。

一 【集めた材料を整理したカード】からは、大野さんの取材の仕方についてどのようなことが分かりますか。取材の仕方の説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 話に説得力をもたせるために、ボランティア活動に関する図や表を準備している。
- 2 ボランティア活動について幅広く考えるために、様々な人の話や資料を集めている。
- 3 話に具体性をもたせるために、ボランティア活動をした中学生にインタビューしている。
- 4 ボランティア活動の意義を考えるために、学校図書館の本で様々な人の考えを調べている。

二 大野さんは、カードを見ながら①から⑤の順で話をすることにしました。②のカードから③のカード、③のカードから④のカードへ話を続けるとき、大野さんはそれぞれのどのような言葉を使うとよいですか。次の1から4までのうち、最も適切な組み合わせを一つ選びなさい。

- 1 ②から③へ話を続けるときは「けれども」、③から④へ話を続けるときは「つまり」を使う。
- 2 ②から③へ話を続けるときは「つまり」、③から④へ話を続けるときは「けれども」を使う。
- 3 ②から③へ話を続けるときは「例えば」、③から④へ話を続けるときは「しかし」を使う。
- 4 ②から③へ話を続けるときは「しかし」、③から④へ話を続けるときは「例えば」を使う。